

## 2020年度 事業報告書

### <総括的概要>

2020年度は、新型コロナウイルスの影響で非常に厳しい結果となりました。4月7日に発出された緊急事態宣言により百貨店、ファッションビルを中心としたリテールが長期間の閉店を余儀なくされ大打撃を受け大幅な売り上げ減少となりました。後半回復の兆しが見えたものの翌年1月から再び第二回目の緊急事態宣言発出となり再び売り上げは前年割れを起こす結果となりました。また、年間を通してインバウンドの落ち込みも拍車をかけることとなりました。

アパレルも同様非常に難しい経営を強いられ苦境に立たされる結果となりました。

IFI ビジネススクールも、前期の基幹コースは全て中止せざるを得ない状況となりその対応に追われる日々となり後期に向けての対策と準備を進めていくこととなりました。

後期につきましては、受講生の方々の安全、安心を第一に徹底した感染予防策を実施し、オンラインとリアル（対面）のハイブリッド型で基幹コースであるプロフェッショナル4コースをお陰様で受講生、講師の先生方及び職員の一人の感染者も出すことなく運営でき、無事に修了式を終えることが出来ました。

特に、デジタルビジネス講座につきましてはオンラインをメインに、バリューチェーン講座につきましてはリアル（対面）とオンラインのハイブリッド型で対応。ファッションマーケティング講座（MD編、店舗運営編）は、リアル（対面）をメインに。

それぞれの特徴が生かせ、グループワーク、演習発表等成果が出せたと考えています。

また、ロジスティクス研究会、ファッションビジネス研究会につきましては、年間通して活発な運営をすることが出来ました。

次に事業収入につきましては、まず収入の部ですが、上期の基幹コースが開催できなかった影響で大幅な減少となりました。一方利息収入は年度末の円安が寄与し予算を達成することが出来ました。消費税の還付金、給付金などの「その他収入」も増加し、経費も大幅に削減しましたが、事業収支としては、前年、予算とも未達となりました。

本年も、新型コロナウイルスの影響で先の見えない不透明な状況が続いていますが、当IFI ビジネススクールとしましては、コロナ禍の状況下にあっても人材教育、人材育成を止めることなく受講生の方々の安全、安心を第一に万全な感染拡大防止につとめ、リモート講義の併用も充実させ講座を運営してまいります。

## 2020年度 事業活動概要

### I.事業実施状況

#### 継続1事業

#### 基幹コース

- アドバンス・コース 開催中止
- エグゼクティブ・コース 開催中止（10月に代替無料ウェビナー配信）
- プロフェッショナル・コース 前期：開催中止  
後期：開催（オンライン講座を併設）

現場実務者向けに週一回（夜間）半年間に渡る実践コース。ファッション・ビジネスの第一線で活躍している講師陣による講義を通して、知識を習得すると共に、グループワークによる「課題発表」などを通じて受講生相互間のネットワークを構築。

2020年度は後期より「モノ創り講座」を全面的にリニューアルし、現在のサプライチェーンが内包する問題をあぶり出し、これからの「価値創出」の在り方について考える「バリューチェーン講座」を開講。

後期の参加実績は、オンライン配信を採用した成果もあり、前年後期の実績を確保。

講座名	期間	開催日	受講者（人）
「店舗MD」	<b>前期</b> 4～9月	月曜	開催中止
「アパレルMDの実践A」	4～9月	水曜	開催中止
「アパレルMDの実践B」	4～9月	木曜	開催中止
「デジタルビジネス講座」	4～9月	木曜	開催中止
「モノ創り講座」	4～9月	金曜	開催中止
◇「店舗MD」	<b>後期</b> 10～3月	月曜	13
◇「アパレルMDの実践A」	10～3月	水曜	16
☆「アパレルMDの実践B」	10～3月	木曜	7
☆「デジタルビジネス講座」	10～3月	金曜	28
★「バリューチェーン講座」	10～3月	木曜	16
合 計			80（名）

◇：教室開催講座 ☆：オンライン専用講座 ★：オンライン併用講座

## 特別プログラム

### ●短期集中講座

特定分野を深耕する為に開催する、短期集中講座。

2020年度は開催中止。その間にオンデマンド化を図り、21年上期よりリニューアルして再開

#### ☆ 実践ビジュアル・マーチャンダイジング

「事前の録画学習」＋「ライブ講義受講」＋「リアル実習」

オンデマンド学習、リモート講義と実習を組み合わせた形態にリニューアルし  
今の時代に合わせ受講する方のペースで学べるように改革

#### ☆ ファッション・ビジネス英会話

リモート講座として開催できるように準備

教材として使用する素材スワッチの英訳版資料を作成

☆ E-ラーニング 「アパレル素材の基礎知識」 20年受講実績 46名

☆ E-ラーニング 「洗濯・保管の基礎知識」 20年受講実績 21名

#### ☆ 「アパレル素材の基礎知識」1日集中セミナー 開催中止

21年上期より講座内容をリニューアル

「E-ラーニング」との内容の重複を最小限に抑え、「クレーム事例」や  
「景表法・品質表示法」等、素材の選択に起因する実務上の事例を加味。  
検索してわかる知識より、実務で備えておくべき実践知の提供にシフト。

### ●地方開催講座

プロフェッショナル・コースの地方開催の要望に応じ開催していた大阪開催を19年より拡充。

「MD講座」に「店舗MD」「デジタルビジネス」の要素を加え、従来の5日間開催を8日間に拡大して年1回下期に開催。(金曜10:00～17:00 8日間開催 於：大阪ドーン・センター)

2020年は10月第二週から12月第一週にかけて毎週金曜日、全8回開催。

新型コロナウイルスの影響もこの期間は少なく、対面授業で開催し、無事修了することができた。

	期間	受講者(人)
・大阪開催講座 (金曜日終日 8日間開催)	10月～12月	計7

## ●大学講座

「ファッション人材育成事業」の産学連携プロジェクトとして、学生のファッション産業に対する正しい理解と、有能な人材を業界内に受け入れる事を目的に、大学の学部でファッション・ビジネスの基礎講座を単位付で設置し、2020年度は5大学で6講座を運営。

大学名	学部	講座名	受講人数
青山学院大学	青山スタンダード教育機構	感性ビジネス講座 ファッション産業のフロンティア	500
青山学院大学	青山スタンダード教育機構	感性ビジネス講座 ファッション・ビジネス戦略論	500
東京経済大学	経営学部	ファッション・ビジネス論	300
同志社大学	経済学部	クリエイティブ産業論	400
横浜市立大学	国際総合科学部	ファッション・ビジネス戦略論	100
東京都立大学	経済経営学部	経営学特殊講義 ファッション産業の現在	200
計		5大学 6講座	2000

## 継続2事業

### ●アドバイザー・ボード

I F I が運営する講座の内容や運営手法について、意見やアドバイスを具申・提案する委員会。2020年度は3月に開催予定であったが、感染症拡大の懸念により中止。

### ●調査・資料収集

図書および資料の収集並びに一般への公開

ファッション・ビジネスの調査・研究に有益な図書並びに資料等を収集し、広く一般に公開。  
講座講師の書籍を購入・受講生に貸し出しを行う

## その他事業

### 他1事業

#### ●カスタムメイド・プログラム

企業や団体の要望に応じ、最適なカリキュラムを構築し、研修を実施、初期の目的を達成していくプログラム。

2020年は感染症拡大により、企業の対面・集合研修の禁止や、移動の制限に加え、収支の悪化が影響し、前年10件の実績が3件にとどまる。

☆ 小田急百貨店「営業力強化研修」「VMD研修」

☆ 大阪メンズアパレル工業組合 単日セミナー

☆ 岩崎学園 F-カレッジ

通期 : 前後期 15 回 「流通論講座」 継続開催

後期 : 「デジタル接客講座」 全 3 回 を新規開催

2021 年は、当プログラムの有効性を整理したうえで、各企業の実状をヒアリングするところから再開。各企業の現状と、目指す教育体系に合わせた提案を行い実績回復にあたる。

## 他 2 事業

### ● 調査・研究事業

#### 1. 「I F I ファッション・ビジネス研究会」

2011 年に業界改革の一助となるべく立ち上げた当研究会も開催を重ね、本年度中に 100 開催を越えるも、2020 年度の会員企業数は状況を反映して前年の 55 社から 47 社に減少。

感染症対策として会場開催をビデオ配信に切换え、年 10 回の講演を実施。配信準備の都合で開始が 1 か月遅れたものの、第一回に配信した一條学長の基調講演は 900 ビューを超える反応があった。

従来の会場開催に於いては各社 4 名と参加人数に制限を設けざるをえなかったが、オンラインのビデオ配信では受講制限を設けずに、会員企業内で自由に URL を拡散してもらい、多くの方に聴取してもらう受講形態に変更したことに対して、会員企業から高評価を得た。

2021 年もこの方式は継続（会場開催の場合も後日、ビデオでの配信を実施）

尚、エグゼクティブ・コースの開催中止を受けて、10 月度の FB 研は、会員企業に併せて、過去に EX コースに参加した方を招待して、一條学長のウェビナーをライブで開催。

土曜日午前中の開催にもかかわらず、140 名がライブ受講して活発な質疑が交わされた。

#### 2. 「I F I ロジスティクス研究会」

2017 年より開催する「ロジスティクス革新」を学ぶセミナー形式の研究会。

AI の活用によるイノベーションが大きな潮流となっている現代、「物流」領域の進化は目覚しく、ファッション産業において、オムニチャネル戦略の肝は「物流」にあるとも言える。

当研究会、2020 年度は、テクノロジーの進化、先進企業の事例の研究から一歩踏み込んで、「オムニチャネル」が、顧客のウェブ上での行動情報を取り込んだ「ユニファイド・コマース」に移行する事実を踏まえて、流通過程全体を考えてロジスティクスを捉えなおした。そのため、SDGs 推進や在庫適正化、二次流通、リバース物流等も研究テーマの核となった。

☆2020年開催実績 : 前期 4月～9月 各月1回開催 計6回 受講実績12名  
後期 10月～3月 各月1回開催 計6回 受講実績11名  
教室開催 18:30 ～ 20:00  
現地研修 半日程度 各期1回開催  
(後期は非常事態宣言を受け4月に延期して実施)

## ●交流・協力事業

### 1. 墨田区との共同事業の推進

墨田区は当財団の最大の出捐元であり、地元の繊維ファッション企業も多くが出捐している。その墨田区との連携を一層強化するため、「墨田区・IFI連絡協議会」において「ファッション産業人材育成支援事業」(授業料補助)の制度を活用して地元企業に還元した。さらに「すみだ次世代経営研究協議会」に委員として参加したほか、地元の東京ニットファッション工業組合(TKF)に、IFIがどのような貢献ができるかについて意見交換した。

### 2. 繊維ファッション産学交流会議

繊維ファッションに関わる企業と学校関係者との交流を深めるため、「繊維ファッション産学協議会」にIFIも加盟しており、理事長が同協議会の理事を兼務。

### 3. 日本ファッション産業協会

アパレルやハンドバック、靴、寝装具など13団体で構成する「日本ファッション産業協議会」にIFIも参画。業界横断的な人材育成事業委員会を担当。

### 4. 日本プロフェッショナル販売員協会

消費者ニーズが多様化・高級化する中で、ブランドを差別化して更なる業績の向上を図るには、消費者に商品の価値を伝える販売員の役割が重要。その地位向上を図る目的で設立された同協会に於いて、会員企業から派遣された販売員のためのスキルアップ講座を推進。